

推薦の言葉（第1版）

本書の著者である讃岐美智義先生は私が大学院生として指導をした最初の研究者でした。もちろん臨床医として麻酔管理の手ほどきも私がしました。何を教えてものみこみの速い、優れた理解力の持ち主でした。やがて成長した讃岐先生は麻酔に関する研修のガイドブックや手術室で使う薬に関する便利なポケットブックを得意なコンピュータ技術を駆使して自分で出版し、無料で関係者に配布して、その使い勝手について沢山の意見を集め、さらに便利なものに改良していきました。隠れたベストセラーを何冊も持っています。さらに何冊もコンピュータに関係した、もちろん麻酔管理と関係したものが主軸ですが、教科書やポケットブックを世に出しています。よく知られているところでは、『麻酔メモ』なども彼の作品です。そんなことで、今では「讃岐美智義」の名前は「知る人ぞ知る」名前になりました。

さて、この度、本書『麻酔科研修チェックノート 書き込み式で研修到達目標が確実に身につく！』を出版する相談を受け、できあがりの良さに感心しているところです。

麻酔科研修はきちんと定められた手順に従って行われなければなりません。そのなかで、必要な知識をコンパクトに整理して頭に入れて研修を行うことが大切です。

本書は自分自身の研修体験を元に自分の「教科書」を作り上げるデータブックとして役立つものと確信いたします。著者が「はじめに」の稿で述べておられるように、本書はあくまでも基本的な麻酔管理に関する研修のチェックノートですから、施設や指導者によって幅のある箇所が必ずあります。本書に記載されているチェックにさらに加えなければいけないようなポイントもあると考えます。

実際に本書を使用していただくなかでの問題点はどうぞ遠慮なくご指摘ください。ご意見やご指摘が著者をさらにいいモノを作ろうという気にさせ、また新しい企画が生まれると確信をしています。

2004年4月

広島大学 理事・副学長
(現 広島市病院事業管理者)

弓削孟文